

大阪・関西万博にフィンランドから サンタクロースが 12/4(水)に来日！ 北欧パビリオンの「クリスマスツリー点灯式」に参加



デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧5か国からなる北欧パビリオンは、12/4(水)よりクリスマスツリーが設置されることを記念して、点灯式を執り行いました。点灯式にはクリスマスシーズンに合わせて、フィンランドから来日したサンタクロースとフィンランドのタンヤ・ヤスケライネン大使が参加し、国境を超えたクリスマスの喜びを胸に、ツリーに光を灯しました。

フィンエアーは40年以上にわたり、サンタクロースの公式エアラインを務めています。フィンランド北部のコルヴァトウトゥリ山やロヴァニエミを拠点とするサンタクロースを、アジア、北米、ヨーロッパをはじめ世界80以上の目的地に届ける役割を担っています。北欧からやってくるサンタクロースは、クリスマスシーズンに希望と幸せのメッセージを運んでおり、今年は開幕を目前に控えた大阪・関西万博の北欧パビリオンに降り立ちました。

「世界中の子どもたちが、クリスマスの喜びと心の中に灯る光を楽しめることを願っています。この点灯式は単なるツリーの点灯ではなく、協力し合い、喜びや笑顔を広め、文化を超えた感動を共有することで、クリスマスの季節の魔法を表わすものです」とサンタクロースからコメントも届いています。



フィンランドのタンヤ・ヤースケライネン大使は、信頼と協力の重要性について強調します。これは、2025年大阪・関西万博での北欧パビリオンのコンセプトの中核となるものでもあります。「共通の目標に向けて協力することで、私たちは非常に遠くまで進むことができます。すべての人々にとって明るく持続可能な未来を目指して



タンヤ・ヤースケライネン（駐日フィンランド共和国大使）

います。そして、このクリスマスツリーの灯りを分かち合うことは、国境を越えた団結への呼びかけでもあります」と述べました。さらに、「フィンランドはサンタ、サウナ、そしてシス(*)という『3S』を持つ幸福な国です。これらが来年、万博を訪れるすべての人も楽しんでもらえること願っています」と笑顔で付け加えました。

* 厳しい状況で発揮されるしなやかな精神性、困難に立ち向かう勇敢さ、忍耐などを指す「フィンランド魂」を表すフィンランド語

北欧パビリオンのコンセプトになっている「Nordic Circle（ノルディック・サークル）」は、人と人、人と自然の繋がりを大切に、大阪・関西万博を通して日本を始めとする世界各国とさらに良い未来を作っていきたいという北欧の想いが込められています。北欧パビリオンの前に設置されたクリスマスツリーは、クリスマス当日まで、建設中の大阪・関西万博会場、夢洲を照らします。



Special Thanks to:



FINNAIR



OFFICIAL AIRLINE
OF SANTA CLAUS

【北欧パビリオンについて】

人口 2,700 万人、GDP1 兆 6,000 億米ドルを誇るヨーロッパ第 5 位、世界第 10 位の経済規模を持つ北欧 5 カ国（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン）からなるタイプ A のパビリオンです。北欧 5 カ国パビリオンの万博参加は、2025 年で 3 回目となります。2025 年の大阪・関西万博では「ノルディック・サークル～北欧と共に、より良い明日へ～」をコンセプトに、北欧 5 カ国がより良い未来に向かって世界をリードするテクノロジー、イノベーション、サステイナビリティの 3 つの分野での先進的な取り組みをご紹介します。

【公式ウェブサイト】

<https://www.thenordics-exposaka.com/>